

# 公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.146

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

## 各セミナー盛況にて終了

### 第3回Yボードミーティング開催

平成31年1月19日(土)医療法人仁友会北彩都病院において、第3回Yボードミーティングが開催されました。今回は初の地方開催となる旭川市で行われ、市内に勤める技士を中心に多くの方に御参加頂きました。最初は北海道Yボード担当の池田事務局長より恒例の「Yボードって何?」と題して、Yボードの目的やこれまでの活動について御講演頂きました。また、中盤に「今さら聞けない働く上での大切なこと」と題してリスクテイクを中心に医療安全について、会場への質問も交えながら分かりやすく御講演頂きました。

続いて「各施設の若手の今」と題し、4施設の方から御講演頂きました。今回の演者は経験年数2~5年目の、入職時より現施設で働いている方たちであり、各施設の特色や入職から現在までどのような仕事をしているか、苦勞したことや今後の

目標などについて発表して頂きました。筆者もYボードは初参加でしたが、同世代の方がどのように働いているかを知ることができ、自身の現状を見直す良い機会となりました。

また、「北海道臨床工学技士会支部制導入について」と題して、大宮会長より技士会の現在の体制や支部制導入のために現在行っている取り組みについて御話頂きました。

第2部は場所を移して情報交換会が行われ、演者の方をはじめ多施設の方が参加され交流を深めていました。今回で3回目となるYボードミーティングですが、普段なかなか話す機会がない他施設の同年代や先輩・後輩とつながりを作ったり、楽しく交流を深める場として今後も活用して頂けたらと思います。最後に、ご多忙の中御講演頂いた演者の方々、参加して頂いた皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

広報 小玉

### 公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.146

第3回Yボードミーティング開催	1
ロボット手術学術セミナー開催	2
第15回卒後教育セミナー開催	2
北海道手術室安全セミナー開催	3
平成30年度公益社団法人北海道臨床工学技士会会長賞決定	3
RM ニュース	4
理事会からのお知らせ	4
4月からの予定表	4
北海道臨床工学技士会メーリングリスト参加申し込みのお願い	5
メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスのご案内	6

## ロボット手術学術セミナー開催

平成31年2月16日、札幌市の北海道建設会館にてロボット手術学術セミナーが開催されました。当日はまずロボット手術作業部会の柴田委員長より作業部会の活動報告が行われた後、道内4施設でのロボット手術の状況を、心臓、肺、胃、腸の4部門に分けて講演が行われました。どの施設においてもロボット手術の運用にあたり、機器の保管場所や手術室内での配置、電源確保など様々な創意工夫が施されており、ロボット手術を既に導入されている施設のみならず今後導入を検討している施設向けにも大変勉強になりました。インテュイティブサージカル社の中澤先生からはロボット手術時のトラブル対応に関する講演が行われ、オンサイト契約の重要性についてもとても参考となりました。講演いただいた先生方はじめ司会の先生方、皆様に感謝申し上げます。

なおロボット手術作業部会は単独部門としては今年度限りで一度活動を終え、今後は教育委員会内にて引き続き事業が継続されるとのことです。ロボット導入施設の増加のみならず、今後も新たな機種が登場や他メーカーの参入なども考えられ、引き続き会員向けの有意義な情報発信の拠点となっていただきたいと思います。

広報 奥山



インテュイティブサージカルの中澤先生

## 第15回卒後教育セミナー開催

平成31年2月24日（日）ムトウ本社6階にて、第15回卒後教育セミナーが開催されました。

セミナーのテーマは、「今一度、基本に戻ろう！デバイス関連業務」となっており、会場には多数の会員が足を運び、座席を確保することが困難なくらい大盛況なセミナーとなっております。



第15回卒後教育セミナー 会場風景

シンポジウムでは、4人の先生に各施設でのデバイス関連業務について、外来受診時の業務の流れや、データ管理、MRI検査時の体制、遠隔モニタリングの現状などについてご講演していただきました。

講演の中で、各施設での様々な規則の作成や、円滑に業務を行なう為の工夫などが紹介されていて、その中心として臨床工学技士が活躍しているのと感じました。引き続き行われた総合討論では、会場から多くの質問が寄せられ、活発な討論が成されておりました。

トピックスセミナーでは、日本メドトロニックの中島先生に「リードスペースメーカーについて」と題してご講演していただきました。講演の中で、実際の植込み手技について説明や、従来のペースメーカーとの相違点について説明があり、大変興味深く聞くことができ、リードスペースメーカーについて理解が深まったと感じました。

デバイス関連レクチャーでは、日常業務で関わることの多い5社の担当者から、各社のデバイスの特徴を説明しながら、トラブル対応について、

S-ICD、ICMなどのデバイスについても紹介されており、充実した内容となっております。総合討論では、デバイスが許容できる高気圧環境や、電磁障害の影響について経験談を交えて意見の交換が行われておりました。

参加者の多さからも想像できますが、デバイス関連に対して会員の皆様が興味を持っているのではないかと感じました。今後もこのようなセミナーが開催され、多数の会員の皆様が参加されることを願っております。

ご多忙の中ご講演頂いた先生の皆様、参加された皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

広報 東

## 北海道手術室安全セミナー開催

2019年3月10日(日) KKR 札幌医療センターにおいて「北海道手術室安全セミナー in 札幌」が開催されました。当セミナーは以前より電気メス安全セミナーとして開催されてきましたが、近年の医療安全に対する意識の高まりを踏まえ、手術室の安全管理のみならず病院全体の医療安全という広義の話題を取り扱うセミナーとして、これまでに札幌、旭川、函館、釧路、帯広、北見など全道各地で過去18回開催されてきたものです。

今回は手術室における医療安全をテーマとして、臨床工学技士(手稲溪仁会病院臨床工学部 今野先生)、看護師(KKR 札幌医療センター手術部 児玉先生)、メーカー(株式会社ホギメディカル札幌営業所 坂上先生)、それぞれの立場からご講演いただきました。

今野先生からは、臨床工学技士がどのようにして手術室支援業務に関わることになったのか、電源設備における問題点と対策についての事例と、現在の支援業務についてのお話がありました。これから手術室に介入を考えている技士にとっては、とても参考になるお話が聞けたのではないかと思います。

児玉先生からは手術室における医療安全対策として、医療事故の現状から求められる安全対策と現場での活動について、KYT(危険予知訓練)

の実践などを交えながらわかりやすくお話しいただきました。

坂上先生からは、R-SUD(単回使用医療機器の再製造)やSCM構想(手術に必要な医療材料を全てキットに内包して供給・納品する)について、材料汚染を防止して安全に手術準備を可能とするためのシステム・構想についてお話いただきました。

いずれの講演も医療安全についての知識を高め、今後の業務に役立てていけるような内容のセミナーでした。

最後に本セミナーでご講演いただいた先生方、ご協力いただきましたメーカーの皆様には感謝申し上げます。

広報 本手



手術室安全セミナーの様子

## 平成30年度 公益社団法人北海道臨床工学技士会 会長賞決定

道内の各臨床工学技士養成校の成績優秀者に贈られる北海道臨床工学技士会会長賞が、平成30年度の卒業生の中から以下の4名に決定しました。

吉田学園医療歯科専門学校	石灘	亜依さん
札幌医学技術福祉歯科専門学校	奥泉	百花さん
北海道科学大学	多田	圭吾さん
北海道ハイテクノロジー専門学校	村岡	大起さん

## ◆RM ニュース◆

### ＜心臓に 21 回電気ショック＞

#### 除細動器が誤作動＞

高知市内の病院では 26 日、高知県内の 50 代男性に埋め込まれた、不整脈を感知し電気ショックを与える機器「植え込み型除細動器（ICD）」が連続的に 21 回誤作動していたと発表した。男性の命に別条はない。

病院によると、機器本体に異常はないが、必要のない電気ショックを与えていた。昨年に男性の症状をみて機器の感度設定を変更したことで、誤作動が起きやすくなっていたとみられる。

男性は 2016 年、病院で機器を埋め込まれ、今年 4 月、誤作動が発生。救急搬送されたが、設定を変更し直すなどされ翌日退院していた。

病院長は「患者への生活指導や投薬などを徹底していれば誤作動を防げた可能性があった」と謝罪した。

2018 年 11 月 27 日（火）配信共同通信社

### ＜透析の男性患者に傷害＞

#### 名古屋市が損害賠償へ＞

名古屋市は 20 日、市内の病院で昨年 2 月、市内に住む 70 代男性の静脈から透析用カテーテルを誤って座位のまま抜いたため、血管内に空気が入り、身体に障害を負わせたと発表した。和解に向け、損害賠償金約 476 万円を支払うための議案を開会中の市議会に提出する。

市によると、病院はマニュアルで、静脈のカテーテルを抜く際はあおむけなどの姿勢で行うよう定めているが、施術した消化器内科の男性主治医は知らなかったという。

男性は昨年 1 月、胆管炎による敗血症と診断され入院し、血液透析のため首の静脈にカテーテルを入れた。約 1 カ月後、男性は座った状態でカテーテルを抜かれ、身体の動きが遅くなるなどの障害を負った。

昨年 10 月に男性側が市に損害賠償の請求を申し入れた。

2019 年 2 月 21 日（木）配信共同通信社

### ＜医師不在、違法透析の疑い＞

#### 元診療所経営者ら逮捕＞

医師が不在なのに人工透析をしていたとして、兵庫県警生活経済課は 20 日、臨床工学技士法違反の疑いで、神戸市内の診療所の元経営者と、元事務長の両容疑者を逮捕した。ともに容疑を否認している。

同課によると、臨床工学技士が人工透析をするには医師の指示が必要だが、医師が 1 人もいない日があったという。2017 年 11 月には透析中の女性患者の容体が急変し、別の病院に救急搬送された。命に別条はなかった。

逮捕容疑は臨床工学技士 3 人と共謀し 17 年 6～12 月の 14 日間、医師の指示なしで 40～80 代の患者 16 人に人工透析の装置を使った疑い。技士 3 人は違法性を認めており、同課は書類送検する方針。

同課によると、17 年 1 月の開業当初は常勤医師がいたが、その後に辞めて非常勤医師だけになった。診療所関係者が同年 12 月、県警に「医師が不在なのに人工透析している」と情報提供。同課は両容疑者が技士に違法な透析を指示していたとみている。診療所は昨年 5 月に閉鎖した。

2019 年 2 月 21 日（木）配信共同通信社

## 理事会からのお知らせ

2019 年 3 月 12 日に行われた理事会で以下の報告事項、協議事項がなされました。

#### 報告事項

1. 新入会、退会者承認
2. 財務報告
3. 各委員会報告
4. 支部制導入活動報告

#### 協議事項

- 議案 1. 2019 年度予算案審議
- 議案 2. 2019 年度事業計画審議
- 議案 3. 外部理事・顧問弁護士欠員について
- 議案 4. 後援・共催規定について
- 議案 5. 出張旅費規定について
- 議案 6. 謝礼金に関する内規について
- 議案 7. 支部制導入について
- 議案 8. 総会開催日審議

(2019 年 6 月 9 日と決定)

# 4月からの予定表

\*\*\*\*\*

2019年4月14日(日)

「第95回北海道透析療法学会」

会場 札幌コンベンションセンター

<https://www.dotoseki.net/index.html>

\*\*\*\*\*

2019年4月14日(日)

「第1種ME技術実力検定試験講習会」

会場 札幌医学技術福祉歯科専門学校

[https://megijutu.jp/cebe1/cebe1\\_test.html](https://megijutu.jp/cebe1/cebe1_test.html)

\*\*\*\*\*

2019年5月18日(土)~19日(日)

「第29回日本臨床工学会」

会場 マリオス(盛岡市民文化ホール)ほか

<http://www.jace2019iwate.jp/>

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

2019年6月8日(土)~9日(日)

「第19回日本心臓植込みデバイス

フォローアップ研究会」

会場 福岡国際会議場

<http://pmfu.sakura.ne.jp/>

\*\*\*\*\*

2019年6月9日(日)

「2019年度 公益社団法人

北海道臨床工学技士会総会」

会場 KKR 札幌医療センター

\*\*\*\*\*

2019年6月9日(日)

危機管理委員会・安全委員会合同企画

「北海道胆振東部大地震の教訓を活かす」

総会終了後に開催予定

会場 KKR 札幌医療センター

\*\*\*\*\*

## 北海道臨床工学技士会メーリングリスト参加申し込みのお願い

技士会の情報網拡充のためメーリングリストしておりますので是非ともご参加下さい。当会運営情報や学会、セミナーの案内など重要な情報を配信します。また、災害発生時には、情報収集し共有する手段としての活用を検討しております。

**技士会の情報網拡充のため、是非ともご参加ください。**

申込みは、当会ホームページの「メーリングリスト」よりお願いいたします。



※年度替わりの時期を迎えております。メールアドレスを含めた会員情報の変更があった際は、速やかに変更手続きを行ってください。

### 《メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスのご案内》

2019年度アカウントについて(2020年3月末日まで有効)

当会専用 ID :1100007199-04  
パスワード :7792mrpz

雑誌名①:北海道臨床工学技士会会誌  
雑誌 URL:<http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ey2rinsy>

雑誌 URL へ接続しますと、北海道臨床工学技士会会誌アーカイブ画面へ遷移します。  
画面右側の会員認証欄に上記 ID/PW ご入力後、会誌の閲覧が可能となります。

AsahiKASEI

## ABH Series

- 実績のあるポリスルホン膜を採用
- 優れた生体適合性及び抗血栓性



血液透析濾過器  
旭中空系型ヘモダイヤフィルター  
**ABH-F**  
中空系内径の拡大により、  
血液側圧力損失を低減。  
高度管理医療機器  
承認番号 22000BZX00496000

血液透析濾過器  
旭中空系型血液透析濾過器ABH-PA  
**ABH-PA**  
中空系と容器設計の最適化。  
2.6m<sup>2</sup>まで幅広い膜面積のラインナップ。  
高度管理医療機器  
承認番号 22000BZX00045000

旭化成メディカル株式会社  
<http://www.asahikasei-medical.co.jp>  
No.2017-5-1790



### 高リン血症治療剤

処方箋医薬品<sup>注</sup> 注)注意-医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



## ピートル<sup>®</sup> チュアブル錠 250mg 500mg

P-TOL<sup>®</sup> Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferri oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp>  
 <資料請求先> <すり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号  
 TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3012KD  
2017年1月作成

JIMRO

## Adacolumn<sup>®</sup> アダカラム<sup>®</sup> 保険適用

血球細胞除去用浄化器

### 特徴

- アダカラムは、活動期潰瘍性大腸炎および活動期クローン病の寛解を促進、症状を改善する治療用医療機器です。
- 全身治療を必要とする膿毒性乾癬に対する効能が認められています。
- アダカラムは、末梢血中の顆粒球および単球を選択的に吸着する、体外循環用カラムです。
- 治療時間は一般的な体外循環療法と比べて短く、60分程度です。

「使用目的又は効果」、「禁忌・禁止」、「使用上の注意」等については、最新の添付文書をご参照下さい。



CE 0123

医療機器承認番号:  
21100BZZ00687000

AD20180522v04A  
AD18E171

●資料請求先 株式会社 JIMRO 学術部

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル TEL:0120-677-170 (フリーダイヤル) FAX:03-3469-9352 URL:<http://www.jimro.co.jp>

# Johodai

進化する情報大で、未来を拓こう。



あなたを大切に育てる e環境  
**北海道情報大学**

〒069-8585 北海道江別市西野幌59-2 TEL 011-385-4411 (代表)

お問い合わせは【広報室】 ☎0120-83-4411

北海道情報大学 オープンキャンパス  
[www.do-johodai.ac.jp/](http://www.do-johodai.ac.jp/) 検索 参加申込みQRコード

- 経営情報学部
- 先端経営学科 ●デジタルビジネス専攻
  - システム情報学科 ●システム情報専攻
  - 宇宙情報専攻
- 医療情報学部
- 医療情報学科 ●診療情報管理専攻
  - 臨床工学専攻
- 情報メディア学部
- 情報メディア学科 ●メディアデザイン専攻
  - メディアテクノロジー専攻



### 臨床工学技士コースのスタートに合わせ 最新環境の「臨床工学実習室」誕生!





# SafeTech®

セーフテック®輸液ポンプ  
FP-N11

## 安全と使いやすさを、その先へ

「クランプリング®システム」 「3Dプレス®方式」 カラー大画面を採用

医療機器分類:高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器 医療機器承認番号:22600BZX0005000 一般的名称:汎用輸液ポンプ

問い合わせ先 **NIPRO** 発売 ニプロ株式会社 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

**NORITSU PRECISION** 製造販売 ノーリツプレジジョン株式会社 和歌山市梅原579-1  
2017年5月作成

### あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されています。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



最新医療機器と最新知識の提供を目指す

**株式会社アクティブメディカル** 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階

TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

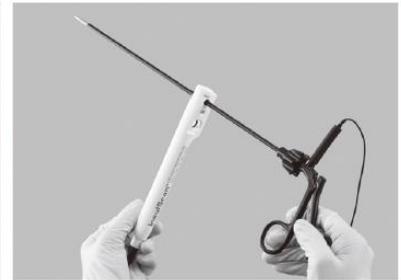
〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>



### 鉗子絶縁不良検知器

# InsulScan™

- 持ち運び可能なポータブルタイプ
- 充電式バッテリー駆動
- 3mm、5mm及び10mm径鉗子に対応



株式会社 **アムコ** [www.amco.co.jp](http://www.amco.co.jp)  
本社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-9-7 TEL. 03 (3265) 4263 FAX. 03 (3265) 2796

# TORAY

Innovation by Chemistry

生体適合性を追求した  
モイストタイプ ヘモダイアフィルター。



# トレライト®HDF NVF

販売名:トレライト®HDF  
一般的名称:血液透析濾過器  
医療機器承認番号:22800BZX00367000  
医療機器区分:高度管理医療機器

販売業者 **東レ・メディカル株式会社** <http://www.toray-medical.com/>  
製造販売業者 **東レ株式会社**

# JMSレーザ血流計 ポケットLDF POCKET LDF

いつでも手軽に、正確な測定を

レーザ血流計は、非観血的に人体組織(皮膚表面)下の微小循環(細動脈、細静脈、毛細血管)の皮膚灌流(血流量)を計測するものです。

製造販売業者  
**株式会社 ジェイ・エム・エス** <http://www.jms.cc/>



- 非侵襲的** 手の指先、耳朶、皮膚表面などで測定可能
- 小型** 手のひらサイズ
- 無線** Bluetooth搭載



販売名:ポケットLDF 管理医療機器/特定保守管理医療機器  
医療機器承認番号:22600BZX00424000

お問い合わせ先 TEL 03-6404-0602

〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル  
2017.05.JMS

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター  
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111

針刺し防止機能付き止血弁内蔵透析用留置針  
Happycath C-PRO

- フルカバータイプのセーフティ機能
- 多数回弁の採用により、  
圧迫止血や鉗子を用いたクランプ操作が不要



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区雑司 1-13-2 TEL.03-3839-0201  
製造販売元: 東野メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-8 TEL.0982-53-8000  
<http://www.medikit.co.jp/> <http://www.togomedikit.co.jp/>

医療機器承認番号: 21400BZZ00343000 販売名: ハッピーキャスV

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HCSMA Version 7

Hospital Management System



WEBアプリケーション フルモデルチェンジ

位置情報検知システム

HOSBE



位置情報検知システムは、Beaconから送信されるBLE (Bluetooth Low Energy) の電波をレシーバーで受信することで位置情報を把握するシステムです。

株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL:011-644-6100 FAX:011-644-6101



いのちに携わる  
責任と使命



日機装株式会社 本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	北農会 恵み野病院	臨床工学科	日沖一木
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川医療センター	診療統括部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>